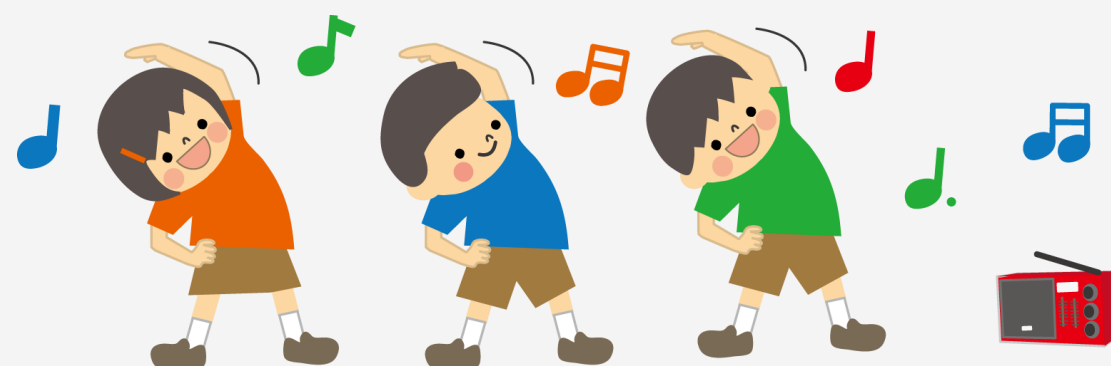




「タクハंक・スポーツプロジェクト」

T-Connect：商学部 経営学科3年
国際ビジネス学科3年

袴田大翔 阿部圭吾 篠原光瑠 王禕明
宮下ひなの 関谷美里



【社会課題：子供のスポーツ離れ】

- 子供の運動不足が深刻化
- スポーツが「苦手」⇒無関心に
- 夏の暑さでスポーツが制限される
- 時間、費用、送迎など家庭の負担も要因に
- 地域、学校、大学の協力が必要不可欠



【プロジェクトの目的】

- ・子供が運動できる場を提供
- ・地域、大学が連携した継続的な支援の仕組みを構築
- ・大学の社会貢献、教育的価値の提供



拓殖大学
Takushoku University



【STEP①現状を知る(アンケート)】

子どものスポーツ離れの背景を知るために:

対象:大学生

調査手法:学期中にwebアンケート



◆主な調査項目◆

- ・スポーツの経験あり/なし
- ・今の大学生が子供時代にどんなスポーツをしていたのか
- ・スポーツを辞めた理由
- ・続けるの困難だと感じた理由

【STEP①現状を知る(アンケート)】

子どものスポーツ離れの背景を知るために:

- ・小学生のスポーツ活動の実態調査
- ・保護者の考えやサポート状況の把握



具体的なアンケート内容

小学生

- ・スポーツ・運動の頻度
- ・好きな運動・苦手な運動
- ・運動が楽しい/つまらないと感じる理由

保護者

- ・子どもの運動習慣への意識
- ・スポーツ活動にかかる時間・費用
- ・送迎や付き添いなどの負担



【STEP②「オレンジフェスタ」】

参加目的

- イベント参加者に小学生と保護者が多く、アンケート対象者と重なる
- アンケートを取りながら、ゲーム感覚でスポーツを楽しんでもらう

ゲーム感覚で楽しめるスポーツブースを出展

(予定)

- ・サッカーボウリング
- ・的あて
- ・ボール置きレース



【STEP③スポーツイベント】

1. アンケートをもとに企画
2. オレンジフェスタよりも規模を拡大して実施
3. 最後にアンケートを実施し今後活かす

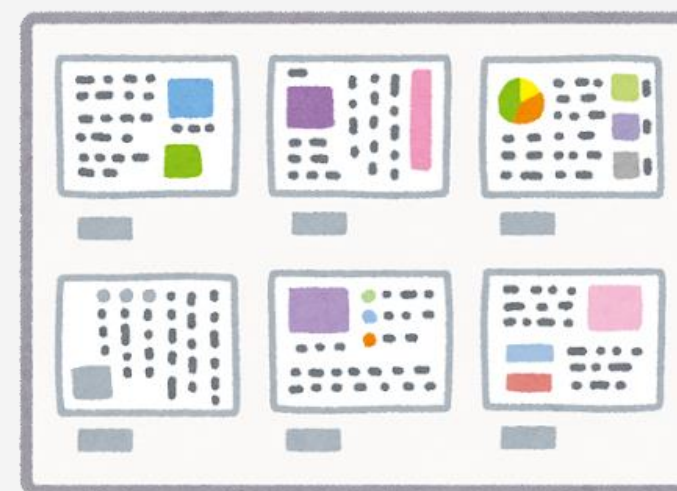
スポーツイベントの今後の展望

- ・定期イベント化を目指す
- ・地域の学校、団体との協働を強化

【STEP④紅陵祭での展示】

内容

- ・アンケートの結果
→分析・スポーツ離れの要因考察
- ・オレンジフェスタの活動記録



【プロジェクトを通じて得られる効果】

子供：

スポーツに関わるきっかけ作り
チームワーク・発想力の向上



大学生：

主体性、協働力などの社会人基礎力の向上

大学：

魅力や社会的価値の発信
大学ブランドの向上

【活動計画】

日程	内容
7月上旬	アンケート作成（小学生・大学生・保護者別）
7/14～	大学生（拓大生）Webアンケート実施
8月上旬	オレンジフェスタ・スポーツイベントの企画
8月下旬	ポスター・チラシ掲示
9月上旬	オレンジフェスタ出展準備
9/23	オレンジフェスタ実施・アンケート実施（小学生・保護者）
10月～	アンケート集計
	「スポーツ離れ」の要因を分析
	スポーツイベント準備
	スポーツイベント実施
	紅陵祭展示準備
11/1-3	紅陵祭（アンケート結果・オレンジフェスタでの写真展示）

【活動予算】

計 111,000円

費目	内容	金額
物品購入費	A4両面アンケート印刷（20円×1,000枚）	20,000
	ポスター・チラシ作成	10,000
	スポーツ用具（ボール、シャトル、ラケット、マーカーコーンなど）	10,000
	イベント参加賞品（200円×50人）	10,000
	消耗品 （ガムテープ、マーカーテープ、ビニールテープ、ペン、のり、紙など）	5,000
	ドリンク、氷、紙コップ、救急箱、アイシングなど	5,000
	設備作成費 （ストライクアウト板、ペットボトル、画用紙、うちわなど）	10,000
その他	ミニサッカーゴール（レンタル、郵送費）	8,000
	施設利用料（文京区総合体育館スポーツ多目的室午後Ⅰ・Ⅱ利用予定）	8,000
	イベント保険（参加者50人想定）（500円×50人）	25,000

【ご清聴ありがとうございました！】

ご清聴
ありがとうございました

